

## 令和2年度教育研究活動報告書

氏名	吉田政之	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経営学）	職位	講師
専門分野	管理会計		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	基礎演習、専門演習la、管理会計論、原価計算論、工業簿記
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）リスク情報開示の有用性	
（2）相対評価とモニタリング	
（3）過剰生産と経済的帰結	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈論文〉「リスク情報開示の内容と有用性に関する実証研究」、単著、2020、神戸大学、博士論文</li> <li>〈論文〉「リスク情報開示におけるリスクの種類とその変遷-トピックモデルを用いて-」、単著、2020、『原価計算研究』44(1)、pp.116-128、査読あり</li> <li>〈論文〉「管理会計は新型コロナウイルスからの復旧・復興を支援できるのか：東日本大震災の実証研究の成果の拡張」、共著（三矢裕、佐々木郁子）、2020、『企業会計』72(7)、pp.937-943、査読なし</li> </ul>
R1	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈論文〉「企業のリスクマネジメントがテールリスクへ与える影響」、共著（早川翔、新井康平、妹尾剛好）、2019、『原価計算研究』43(2)、pp.89-102、査読あり</li> <li>〈学会発表〉事前のリスク認識とリスク顕在化後の企業業績との関係性—自然災害リスクに焦点を当てて—、単独、日本会計研究学会 2019年9月8日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉リスク情報開示における文章属性と認識しているリスクの変遷、単独、日本原価計算研究学会 2019年9月4日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉相対評価における追加的なモニタリング、共同（小笠原亨、早川翔）、日本管理会計学会 2019年8月29日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉リスク情報開示における文書属性とリスク認識の決定要因、単独、日本管理会計学会 2019年8月29日、査読なし</li> </ul>
H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈ワーキングペーパー〉過剰生産と将来業績—製造原価を用いた残差分析—、共著（早川翔、吉田政之、小山真実、安酸建二）、神戸大学大学院経営学研究科大学院生ワーキング・ペーパー 201804a 2018年10月、査読なし</li> <li>〈ワーキングペーパー〉リスク情報の可読性と将来業績に関する実証分析、単著、神戸大学大学院経営学研究科大学院生ワーキング・ペーパー 201806a 2018年10月、査読なし</li> <li>〈学会発表〉財務数値の知見を用いた予測精度の向上、共同（小笠原亨）、日本会計研究学会 2018年9月5日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉企業のリスクマネジメントに対する取り組みの違いが将来業績へ与える影響に関する実証研究、共同（早川翔、新井康平、妹尾剛好）、日本原価計算研究学会 2018年8月31日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉企業の過剰生産が将来業績に対して与える影響、共同（早川翔、吉田政之、小山真実、安酸建二）、日本管理会計学会 2018年8月29日、査読なし</li> <li>〈学会発表〉企業のリスク情報の開示が将来業績へ与える影響、単独、日本管理会計学会 2018年8月29日、査読なし</li> </ul>
H29以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉リスクマネジメントと管理会計の関係に関する考察、共著（橋本英幹、三矢裕）、2017、国民経済雑誌216(3)、pp.41-67、査読なし	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本会計研究学会、日本管理会計学会、日本原価計算研究学会	
学術表彰（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
2020年10月日本原価計算研究学会 奨励賞 リスク情報開示におけるリスクの種類とその変遷-トピックモデルを用いて-	

IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）FMおのみち・ユウガッタ・レディオ出演	
公開講座	0回
講演会	0回
出前授業	0回
その他（FMおのみち・ユウガッタ・レ	1回